

## Ⅱ 学校の経営

### 1 学校教育目標

#### (1) 基本目標

『自ら学び自ら考え、共に支え合い高め合える、心豊かでたくましい生徒の育成』

<校訓「立志大成」>

～徹底をいとわず、夢の実現をめざし、未来に羽ばたく東中生～

#### (2) 具体目標（目指す生徒像）

##### 〔徳〕 やさしく助け合う生徒（豊かな人間性）

- ①相手の立場に立って考え、行動する（協力する）
- ②相手のよさや違いを認め、いじめを絶対にしない（許さない）

##### 〔知〕 自ら考え学ぶ生徒（確かな学力）

- ③自ら課題を見つけ、めあてをもって粘り強く追究する
- ④考えを共有し、よりよい考えを創り出し、表現する

##### 〔体〕 たくましく健康な生徒（健やかな体）

- ⑤心身共に健康で、何事にも強い意志をもって取り組む
- ⑥清掃活動や美化活動などに心を込めて取り組む

##### 〔夢〕 夢の実現に励む生徒

- ⑦将来の夢をもち、夢の実現に向け粘り強く勉強や運動に励む。
- ⑧目標をしっかりと立て、活動に取り組む。

#### (3) 目指す学校像

『生徒の力を最大限伸ばし、誰からも信頼され愛される学校』

- ①生徒一人一人が生かされ活躍し、力を最大限伸ばせる学校
- ②教職員が共に支え合い、組織として力を発揮できる学校
- ③安心・安全で、地域に根ざし、信頼され愛される学校

#### (4) 学校生活の三本柱<東中プライド>

『あいさつ』・・・「自分から」「目と目を合わせ」「TPOに応じた」「心をつなぐ」

- ・正しい言葉遣いで挨拶をする
- ・全員（東中生、保護者、先生、来校者）に挨拶をする

『5分前行動』・・・「次の活動への準備」「教科書などを見ている」「正しい姿勢で」「自ら動く」

- ・1分前には着席ができる
- ・静かに待つように呼びかけができる

『環境美化』・・・「無言清掃」「丁寧に隅まで」「自分から気づく」「日常できれいを保つ」

- ・自分の分担意外にも取り組める
- ・汚れに気づいたら、進んで掃除ができる

## 2 学校経営方針

### (1) 基本方針

## 『生徒の力を高め伸ばし、信頼され愛される学校』づくりに努める

東中「学校教育目標」の具現化に向け、特色ある教育課程を編成し、生徒の力を高め伸ばす教育活動を、組織的・継続的に進めるとともに、生徒や保護者、地域から信頼され愛される学校経営を進める。

### (2) 具体方針

(1)で示した「基本方針」のもと、次の①～③の3点を「具体方針」として学校経営を進めていく。

#### ①「生徒一人一人が生かされ活躍し、力を高め伸ばせる学校」とする

- 生徒一人一人のもっている資質や能力、よさや可能性、特性等を教職員がとらえ、生かせる行事や活動を設定するとともに、力を高め伸ばせるよう、必要な指導・支援を組織的に進める。
- クラスや学校、家庭や地域における様々な教育活動において、生徒が役割と責任を自覚して取り組み、活躍できるようにするとともに、取組の成果を具体的に価値付けし、自己有用感に裏付けされた自尊感情を高められるようにする。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざし、ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実を図った授業づくりを行い、一人一人の力を伸ばすとともに、それぞれの考えを生かし深める授業を展開する。

#### ②「教職員が共に支え合い、組織として力を発揮できる学校」とする

- 各教職員の資質・能力、経験等を生かした学校組織を編成し、各教職員が役割と責任を自覚し、見通しをもった組織的な取組を展開する。
- 3つの「わ(和・輪・話)」を大切に、「報告・連絡・相談」が常にできる風通しの良い職場環境づくりに努めるとともに、様々な問題に対して全教職員で情報共有し、迅速かつ組織的な対応を図る。
- 全教職員が、4ワーク（フットワーク、ネットワーク、チームワーク、ハートワーク）を機能させ、学校統合を見すえながら東中学校内だけでなく、富岡中学校の教職員とも互いに尊重し支え合いながら総力を結集した学校運営を推進する。

#### ③「安心・安全で、地域に根ざし、信頼され愛される学校」とする

- いじめ防止基本方針のもと、組織的ないじめ防止に努めるとともに、交通事故防止や感染症対策等に対し、関係機関と連携しながら全教職員で組織的に取り組み、生徒の命を守り、安心・安全な学校づくりに努める。
- 学校統合に向けた富岡中学校との連携や富岡小学校との小中連携、市内中学校との連携や各種教育施設等、地域関係機関との連携を充実させ、学校統合を見すえながら、地域に根ざし、地域の特色を生かした学校運営を推進する。

- 学校から家庭や地域へ情報を積極的に発信するとともに、家庭や地域との連携・協働を充実させ、信頼され愛される学校運営を推進する。

### 3 本年度の「努力点」

次の(1)～(8)に掲げた視点から、本年度の努力点を示す。

#### (1) 確かな学力の向上

- 各教科等におけるICT活用の特性・強みを生かした「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を日々推進する。
- ALTやICT等を積極的に活用し、体験的に外国の文化に対する理解を深めるとともに、楽しみながら英語を学び、自ら進んで英語でコミュニケーションを図る力を育成する。  
【『F u n g l i s h』の推進】
- 各教科等の授業で、生徒一人一人が主体的に課題解決に取り組み、生徒の思考力・判断力・表現力の育成を図るために、体験的な学習や問題解決的な学習を重視し、「めあて」「まとめ」「振り返り」を意識した授業を展開する。

#### (2) 豊かな人間性の育成

- 様々な行事や体験活動、特別の教科である道徳の時間を中心とした各教科等の学習活動において、自己有用感に裏付けされた自尊感情を高め、互いによさを認め合い、よりよく生きようとする態度を育成する。
- 学校生活全体において、人権が尊重される教育環境作りを進めるとともに、日常の観察や教育相談、生活アンケート等を通じた生徒の変化の早期発見に努め、いじめや不登校の未然防止、組織的な対応に努める。
- 「学校生活の三本柱」として、「あいさつ」「5分前行動」「環境美化」を生徒と教師が日常的に意識できるよう具体的な姿を示し、生徒一人一人を認め、励まし、生徒の主体性を伸ばすように努める。

#### (3) 健やかな体の育成

- 体育行事や部活動に積極的に参加する態度を養い、有能感や達成感を味わわせるとともに、進んで身体と心を鍛える生徒の育成に努める。
- 感染症やアレルギー対応等、生徒が自ら判断し、よりよい行動や適切な対応ができるよう、感染症予防についての知識及び意識を高めていく。
- 生命の尊重を基盤とした危険予測能力及び危険回避能力を育成するため、安全教育やSOSの出し方教育の充実に努める。

#### (4) 学校経営の充実・改善

- 教職員が互いに尊重し支え合いながら一体となって学校運営を推進できるよう、3つの「わ(和・輪・話)」を大切に、「報告・連絡・相談」が常にできる風通しの良い職場環境づくりに努めるとともに、様々な問題に対して全教職員で情報共有し、迅速かつ組織的な対応を図る。
- 各教職員の資質能力、経験等を生かした学校組織を編成し、各教職員が役割と責任を自覚し活躍できるようにするとともに、人事評価や学校評価を生かし、短期及び中長期的な人材育成と学校経営の一層の充実に努める。
- 生徒指導部会や教育相談部会を機能させ、いじめの未然防止や早期対応、不登校生徒への支援や改善、ヤングケアラーの対応に向けた取組を組織的に進める。

#### (5) 教職員の資質能力の向上

- 全教員でICTを有効活用した授業改善に取り組むとともに、昨年度までの指定校の取組を生かし、日常的に授業を参観し検討する機会を設ける。
- 教職員が職員会議ごとに服務規律に関わる事例を発表し合ったり、必要に応じて関係する事案を示したりするなど、服務規律の確保に向け、日常的に教職員の知識と意識を高めていく。
- 避難訓練や校内研修等を通じて計画的に教職員の危機管理意識を高めるとともに、校内の危機管理マニュアルやいじめ防止基本方針等の周知徹底と、不断の修正・改善に努める。

#### (6) 学校間連携

- 富岡小学校と教育課程や生徒指導計画等の共通理解を深め、9年間を見通した各種計画の見直しや改善を行い、系統性・一貫性・連続性のある指導を推進する。
- 管理職の日常的な情報交換や、各種通信や通知等の相互の情報提供、学校行事や授業の相互参観や合同研修会の開催等により、富岡小学校との情報交換や職員相互の日常的な交流を推進し、「校区内1小中学校」の強みを生かした連携の強化を図る。
- 市内中学校との緊密な情報交換や、行事や生徒指導等の積極的な情報提供等、市内6中学校の連携を強め、中学校間の共通理解と共通した対応に努めるとともに、本校の学校運営に生かす。

#### (7) 家庭・地域等との連携

- webページやメール、各種通信等の活用を通して、学校の考え方や生徒の活躍、学校統合への取組等を家庭や地域へ積極的に発信するとともに、情報共有の充実を図り、家庭や地域の信頼を高め愛される学校づくりに努める。
- 地域人材の活用を推進するとともに、各種連携会議や学校評価の結果等を有効に活用するなど、地域からの情報や意見を積極的に取り入れるよう努め、地域に根ざした学校づくりに努める。
- PTAや地域団体、教育機関や各種公共施設等、各種関係機関との日常の連携を深め、学校教育の推進や学校課題の解決、緊急時における学校への協力・支援体制の強化を図る。

#### (8) 教育環境の整備・充実

- 校時表の更なる見直しや行事・会議等のもち方の工夫、ICTを活用した各種会議のペーパーレス化や保護者への連絡の工夫等、業務の効率化、省力化に向けた取組の一層の（不断の）工夫、推進に努める。
- 定期的な安全点検を確実に実施し、教室・校庭等の学習環境を整えるとともに、感染症対策に関わる消毒や換気等に努め、安心・安全で信頼される学校づくりに努める。
- 整備されたタブレット端末とTVモニタ、教育ソフト等、ICT環境を有効活用し、学校教育全体の質の向上を図るとともに、生徒の情報活用能力の育成に努める。